



Protect  
Children's  
Life

NPO法人 子どものいのちを守る会 <http://kodomo-mamorukai.moo.jp/>

# Empowering Children

05/ 2020  
令和二年 5月号  
2020 May Edition



## SOLAR SCHOOLへの挑戦

Challenge to Solar School Donation Program

皆さん お元気ですか

コロナコロナの情報崩壊（チャンネル回せばコロナ）？と思われる現象に加え朝令暮改の我が国のトップの方針転換でこの緊急事態崩壊（戦時体制と言う人もいますが）。為に医療崩壊寸前。なのに吾らが選んだ国会議員の歓楽街闊歩、商権に群がる政治家、税金から出る収入（6000-8000万円）の削減も後出しジャンケン、正に政府（国会）崩壊。それを十分に発言提言できない日本株式会社（のトップの）崩壊、これでは、我々市民崩壊にも繋がる事態です。

我々はこの現象を認識出来ていないのか。もうよくわかりました。ほっておいてください。自分で管理できますからと本当に思っておられるのか、等の意見もあります。今、ここは一歩譲ってみんなひとりひとりが協力してこの難局を克服せねばなりません。命の危機です。我がNPOも子供のいのちを守る会を立ち上げた所にコロナで足元をすくわれた感じです。周りは子供のいのちだけでなく皆の命、世界人類の命ととてもなく大きな命題にぶつかりましたが、身の丈にあった活動をするつもりです。何かお役に立てる仕事と思いマスクの供給を考えその準備を激しい競合の中やり始めました。少量かもしれませんが必要の方はご連絡ください。我々の選んだ国会議員は歓楽街の現場で遊ぶなど情けない、医療崩壊も始まっている。そんな暇があれば24時間体制で命を守る必死の作業している現場でも行けばよい。得意の会議、会議ばかりせずあの戦闘状態の医療現場を見れば、もっと早く何をすればよいのか、結論方針が直ぐに出せる。現場主義の徹底不足等です。若手の北海道知事や

大阪の知事を評価されているのを謙虚に受け止めるべきであるとの意見も多い。

これは日本の企業トップにも言えることだ。日本株式会社の崩壊？顔が見えない。堂々とメデアに出て貢献度を示すべきだと発言もあります。バカの国、日本大丈夫かという本迄出ました。一人一人が現状を信念を持って自覚認識が必要です。日本人は世界でも稀なる優秀な国民と言われている。それを問われている。散歩がてらに道端でふと目に止まった一輪の花、白く懸命に咲く姿に逞しさを感じるとともにその純粋な生命力を見ると、頑張らないと、と目を覚まされました。

先月は多少精神的な事を書きましたが、それはこの時代に流されない大事な心の持ち方です。

小さな駆け出しのグループではありますが、心を積極的に尊く強く正しく清く、また明るく朗らかに生き生きと前進して行きたいと 念じています。神は耐えられない試練を我々に与えない。

諸行無常もある。God bless us all.

追伸：先月に紹介したイスラエルの歴史学者、ハラリ氏

が昨夜4月25日、NHKの特番生放送に出ました。コロナ後の世界への警告。

1. 我々の世代で進む最大の危機である。市民の権利を強化する事がだいじである。

(Empowering Citizen) さもなければ全体主義的監視社会に巻き込まれる。（自由と安全の保障の危機）だから個人個人、国と国の信頼関係構築し情報の共有と連帯に全力を挙げる必要がある。

2. WHOの崩壊は好ましくない。国際的協力がmustである。ご本人は\$1 Million寄付をした。

### 「子どものいのちを守る会」とは

本会は、青木紀代美（1972年よつ葉牛乳の共同購入運動の創設者）を中心に、志を一つにした設立メンバーが2002年に発足しました。

自然に添った無農薬食品の提供で子供の命、健康を守るをベースに活動を始めました。現在これのさらなる発展の為、医療、環境、教育分野も加え活動を行っています。

「人は何のために生きるかを追求し、  
今あるエネルギーをさらに発展させ時代を超える」

心に一点の曇りもなく、世界の恒久平和と人類社会の進歩発展の実現を未来の子どもに託し、その命を食・医療・環境と教育を通じて守る。

又国連のSDGs目標とする持続可能な新しい社会的価値と経済的価値を創出する事をNPO法人の方針として、新しい時代を生き抜く。

- ◎ 利他の心を中心とした教育を提供すること
- ◎ 物心両面の成長と幸せの機会を与える。
- ◎ 子どもを守るとは親を守ること
- ◎ 親を守るとは親が正しい知識見識を身につけること

お問い合わせ

[kdm.mamorukai@gmail.com](mailto:kdm.mamorukai@gmail.com)